

助成金公募のお知らせ



ふくしま産業応援 ファンド

研究開発をお考えの福島県内中小企業者の皆様へ
新商品・新技術等の調査・分析、開発、販路開拓に係る経費の
2分の1を助成します

事前相談期間

令和8年 2月2日(月)～2月27日(金)

事前相談を行うことを申請の条件とします。左記がない場合、申請を受け付けることはできません。

申請書提出期間

令和8年 2月6日(金)～3月6日(金)

期間締切の1週間前までに、提出する申請書の確認・アドバイスを受けてください。

助成対象期間

交付決定日(5月上旬予定)～令和9年1月31日まで

(販路開拓事業・中小企業育成支援事業は令和9年3月20日まで)

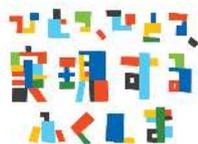
次回公募は令和8年8月上旬～9月上旬を予定しています。

	助成対象者	対象経費	助成率	助成上限額
事業可能性等 調査事業		<ul style="list-style-type: none"> ●旅費 ●調査・分析費 ●その他の事業費 		100万円
技術開発事業	次のいずれかに該当する者 ① 県内に事業所を有する 中小企業者、NPO法人等 ② 助成期間内に県内において 創業する者 ③ ①、②で構成されるグループ	<ul style="list-style-type: none"> ●原材料費 ●機械装置・工具器具費 (量産のための設備は対象外) ●外注加工費 (主たる研究課題は外注不可) ●技術指導費 ●その他の事業費 	助成対象経費の 1/2以内	500万円
販路開拓事業 ※新商品、新技術に 関するもの	(※みなし大企業は対象外)	<ul style="list-style-type: none"> ●展示会出展関連費用 ●広告宣伝費 ●印刷製本費 ●外部委託費 ●職員等旅費 ●その他の事業費 		100万円
中小企業育成 支援事業	県内の商工関係団体、 金融関係団体、金融機関、 産学連携機関等	<ul style="list-style-type: none"> ●謝金・旅費 ●印刷製本費 ●その他の事業費 ●会議費 ●通信運搬費 	助成対象経費の 10/10 以内	100万円

※ 公募期間の内外を問わず、随時相談を受け付けております。

- 相談予約はこちら <https://timerex.net/s/f-tech/3e1ac402>
- 申請の詳細はこちら <https://fukushima-techno.com/r/>

オンライン相談も
実施しています



公益財団法人 福島県産業振興センター
技術支援部 技術総務課
TEL. 024-959-1929
E-Mail : f-tech@f-open.or.jp
LINE公式アカウント @157njtwe



〒963-0215 郡山市待池台1-12
福島県ハイテクプラザ内



テクノ・コム

<https://fukushima-techno.com/r/>

応募から事業終了までのスケジュール例

～3月6日	3月中旬～4月末			5月	～令和9年 1月末まで	令和9年 2月以降	
申請 (助成金交付 申請書の提出)	事務局 ヒアリングの 実施	審査委員会 による審査	採択者 決定	採択通知、 助成事業 開始	助成事業の 実施	(事業の実績報告後) 助成金額確定 助成金支払い	(事業終了後) 事業化等 状況の定期報告

対象事業の例 (過去採択事業)

株式会社 benefic 郡山市

事業可能性
等調査

技術開発

販路開拓

事業名	地元農作物を用いた 清涼飲料水の開発と機能性調査
事業概要	新たな6次化製品を目指し、自社が取り組んできた事前研究をもとに県内主要作物であるきゅうりを使ったオリジナル清涼飲料水を試作。商品化に向けて消費者モニターや小売店等へのアンケート調査、また試作品の機能性成分分析を実施した。
事業成果	令和6年12月までの販売本数は5,000本となる。



東和 株式会社 本宮市

事業可能性
等調査

技術開発

販路開拓

事業名	産業動物(牛)の見守りシステムの開発
事業概要	IOTデバイスとクラウド活用による牛のバイタルデータを取り込み、データ解析による健康管理、ストレス状態、発情期の予知アルゴリズムが可能となるシステムを開発した。特許技術のすい形型の電極と、ずれにくいベルトタイプにより、従来の電極にくらべ高精度なデータの取得を可能とした。
事業成果	令和6年9月事業化以降6セットを販売。



福島県郡山地区 木材木工工業団地協同組合 郡山市

事業可能性
等調査

技術開発

販路開拓

事業名	県産材使用の学校机天板を再利用した 木製パーテーションの販路開拓
事業概要	今まで廃棄していた県産材使用の学校机天板を再利用し、5秒でカムダウンスペースが完成する木製パーテーションとして製品化。特別支援学級での利用に向けて、展示会に出展、PRを行った。
事業成果	令和7年4月出展以降、特別支援学級だけでなく多方面より引き合いあり。

